創ろう！守ろう！みんなの公共交通
地域検討会かわら版

陶･鋳銭司･名田島･秋穂二島 編
平成29年5月発行

～安心して住み続けられる ～交通まちづくりをめざして～

山口市では、市民が将来に不安を感じることなく、安心して生活できるよう、マイカーに頼り過ぎず、移動手段の軸足を公共交通へ転換していくために、まちづくりや地域づくりなど総合的な観点から山口市では「山口市市民交通計画」を平成19年に策定し取り組んできました。

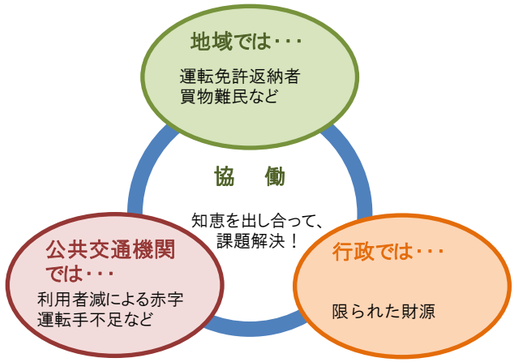
その中で、交通弱者のためになんとかしたいという思いから、コミュニティタクシーの運営組織（小鯖・宮野・嘉川・小郡・秋穂・佐山・阿知須・島地）が立ち上がり、地域が主体となり、地域のニーズにあったコミュニティ交通が整えられました。また、更なる交通弱者への対策としてグループタクシー（相乗り）の仕組みも新設しました。あわせて、都市核、地域核間を結ぶバスや鉄道についても維持強化を図ってきたところです。

しかしながら、鉄道や路線バス等の利用者の減少や、運転手の不足により、路線の廃止や減便につながっている状況です。一方で、これからの高齢社会の中での運転免許返納者が増えるなか、ますます困る人が増えると推測されます。また、移動手段を持たない若者や通勤者にとっても、公共交通は移動手段として必要不可欠なものです。

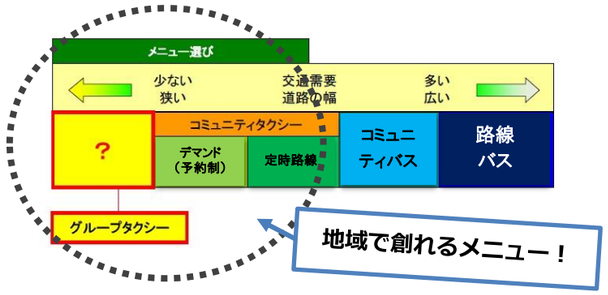
この現状を打破し、「クルマがないと生活できない山口」から「クルマがなくても生活できる山口」に転換し、安心して住み続けられる、クルマに頼り過ぎない交通まちづくりを目指して、「第二次山口市市民交通計画」を平成29年度中に策定することとしています。

そこで、地域の皆さんに現状を理解していただくとともに、地域の事情やニーズをお伺いし、より良い交通のあり方について、一緒に考えていくため、市内を10ブロックに分けて、去る3月に地域検討会を開催しました。

【公共交通を取り巻く課題。ともに取り組みましょう！】



【地域の話し合いで生まれたグループタクシー】



山口市の主な支援制度

○相乗りするほどお得なグループタクシー利用券･･･65歳以上で最寄りの公共交通機関から1km（75歳以上700m）以上離れている方に距離に応じて300円、500円、700円の利用券を年間60枚交付
○福祉タクシー利用券･･･障害者手帳をお持ちの方に300円の利用券を年間40枚または80枚交付
○おでかけサポートタクシー券･･･要支援･要介護認定を受けている方、介護予防･日常生活支援サービス事業対象者に300円の利用券を年間40枚交付
（グループタクシー･福祉タクシー･おでかけサポートタクシー利用券の重複申請は不可）
○福祉優待バス乗車証･･･70歳以上、市内の路線バスに限り一乗車100円
○サイクル･アンド･ライド、パーク･アンド･ライド（乗り換え専用の駐輪場･駐車場）
○ノーマイカーデー参加登録者への毎月第3金曜日のバス半額割引、協賛店舗での特典サービス
○バス停上屋設置の補助金
補助対象経費の2/3以内、
補助限度額70万円

詳細は、山口市交通政策課までお問い合わせください！

参加者アンケートより<12名回答>

Q地域検討会への参加により公共交通への理解が深まりましたか？
①深　ま　っ　た　8人
②どちらともいえない　4人
③深まらなかった　0人

Q公共交通を利用しようと思いますか？
①引き続き利用する　3人
②これからは利用する　4人
③わ　か　ら　な　い　5人
④利　用　し　な　い　0人

Q公共交通を守る必要を感じましたか？
①感　じ　た　9人
②どちらともいえない　3人
③感じない　0人

Q地域での話し合いの必要性を感じましたか？
①感　じ　た　11人
②どちらともいえない　1人
③感じない　0人

【感想（抜粋）】
○集会に参加する者が少ないことに、あまり今は必要を感じていないことがうかがえます。
○行政がカバーできる範囲で公共交通の使用方法を案として出して欲しい。
○地域外の拠点（スーパー、病院、駅）に行けるよう規制を緩和する。地域はいつごろどこに行きたいか、公共交通を使えるか、意見をまとめる
○バスを利用する回数を増やしていきたい。
○これからの公共交通をどうするか真剣な議論をしていかないといけないと思った。

今後に向けて地域の話し合いを応援します！
詳細は、交通政策課にご相談ください。協働推進課とも連携し、専門家のサポートも受けられるように調整します。

創ろう！守ろう！みんなの公共交通　地域検討会　　かわら版　陶・鋳銭司・名田島・秋穂二島　編
発行：山口市都市政策部交通政策課　〒753-8650　山口市亀山町2-1
TEL　083-934-2729　FAX　083-934-2959

3月14日（火）名田島地域交流センターにおいて、14名の参加のもと、地域検討会を開催しました。

最初に山口市市民交通計画についてご説明し、現状の課題をわかちあい、専門家の意見を頂き、課題を解決するアイディアを出し合いました。その概要をお伝えします。

この検討会を契機として、各地域の機運が高まり、それぞれの地域にあった地域公共交通を検討するための、二回目、三回目の勉強会につなげていきましょう。

■現状をわかちあう！■

- バスの不便さ
  - １日４便しかない（国道２号）
  - ステップが高い
  - 終便が早く、使い勝手が悪い
  - バスがいつ来るのか分からない
  - バスでは、買物の荷物を持つのが大変
- ＪＲ
  - 陶地区には線路はあっても、駅が無い
  - 跨線橋の上り下りができない高齢者が多い
  - 駅舎が古い
  - 四辻駅には駐車場が無い
- 地域の不便さ
  - 名田島にはお店が無い
- グループタクシー
  - 対象地域が少ない
  - もっと使いやすいものに
  - 防府に行った時使えない
- 車が一番
  - 軽トラックは高齢者でも運転しやすい
  - 地域内交通手段として不可欠。自転車は危ない

大阪大学教授　森栗茂一氏

今日の前向きな議論を、ぜひ形になるものにしようではありませんか。

山口市では全てのバス路線をＹａｈｏｏの路線検索に載せています。まずは検索！

買い物困難者対策

- 交流センターに移動販売車を配置する。
- 免許返納に対する特典を増やす
- グループタクシーの距離の見直し

小郡に行きたい！

- 鋳銭司→陶→名田島→ロックタウンの買物のためのバスまたはタクシー
- グループタクシーの路線化
  四辻駅でバスとも連結
- 通院者の組織化（特に男性）
  グループ化して一緒に通院

タクシーの活用

- グループタクシーの活用を皆さんに知らせる。
- タクシーの便利な運用が考えられないか。デマンド
- グループタクシーで、病院への通院を相乗りでいける方法を活用

■アイディアいろいろ■

ノーマイカーでポイント

- ノーマイカーデーを利用して「健康づくり」を兼ねたウォーキングで、ポイント付与。または、公共料金の割引

路線バスも大事

- バス路線を守る。南総合センターの行事にバスを利用してみる。
- 地域広報誌を活用して、公共交通のPRを

なぜ今公共交通なのか・・・

現在車を運転している人のうち、4人に3人は将来運転し続けることに不安を感じているという統計結果がある。マイカー依存社会は無理の上に成り立っている。

5年後・10年後に向けた公共交通への期待は大きい。

しかし「今」はクルマの運転に困っていないところに課題。

今、5年先のことを考えて行動しなければ。

・山口市民の7割が1年1回（1,000円）公共交通を利用するだけで守れる！

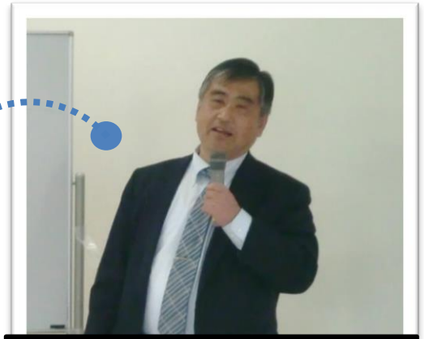
・クルマは乗らなくても1日約1,700円かかる（購入費、税金、保険、車検、駐車場代）

毎日の行動を車から公共交通機関に転換するのではなく、何かのときに年１回でも利用するようになれば・・・

・家庭版ノーマイカーデー、ポイント付与
→ぜひ前向きな検討を

・小郡にはたくさんタクシーがある。上手な活用を。

公共交通を考えることは、まちづくりを考えること。
われわれ専門家も全力で応援します！



交通ジャーナリスト　鈴木文彦氏

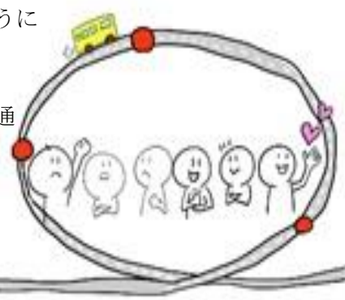
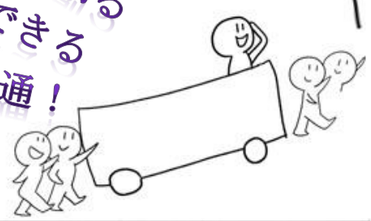
基幹交通（バス・鉄道）の利用促進の啓発！
地域ニーズの把握！
地域での話し合い！

～誰もが安心して暮らせるための交通まちづくり～

■公共交通は社会のインフラ
- 公共交通を考えることは、まちづくりを考えること
- 誰もが自分の意思で移動できるように（高齢者・子育て世代・高校生）

■集い歩くことが賑わいに
- 生活に必要な施設をつなぐ公共交通ネットワーク
- 多少の不便も「健康増進」と割り切る

■こどもの教育
- こどもの社会との関わりが増す



みんなで創る
持続できる
地域の交通！